

## 外国語教育研究室・CALL 教室開設 50 周年記念号の 発刊に寄せて

専修大学長 矢野 建一

1964 年（昭和 39 年）4 月、本学生田キャンパスに Language Laboratory が創設され、以来、平成 26 年に 50 周年を迎えることとなりました。50 年もの歴史を刻む中には、学生・教職員の情熱と真摯な取り組みがあり、多くの関係者のご尽力があったものと拝察いたします。あらためて敬意を表するとともに、深く感謝いたします。

創設当初はフルラボ 1 教室 50 席、ヒヤリングブース 60 席、録音室、編集室を備えた「専修大学視聴覚教室」が中心でしたが、その後は情報機器の発展とともに設備を拡充し、現在では e-learning やマルチメディア語学教育支援システムも導入されております。こうした環境が学生・教職員に積極的に活用され、先端的な教育・研究が活発に展開されることを期待しております。

近年はグローバル化の進展が目覚しく、技術革新によってあらゆるもの（人、モノ、情報、サービス、資本、知識など）が簡単に国境を越え、大きな利益をもたらすようになりました。しかしその反面、発展途上国の貧困や混乱が加速しテロ事件が頻発するなど、解決困難な問題も生じております。このような状況の中で必要となるものは、単なる語学力だけではなく、他者の信仰や文化を深く理解し尊重できる、真のグローバル化にはないでしょうか。外国語教育研究室・CALL 教室での教育・研究、学習を通じ、このような能力を培い、真の国際人として活躍できる人材を多数輩出していきたいと存じます。

専修大学外国語教育研究室・CALL 教室開設 50 周年記念号を発刊するにあたり、本学における外国語教育及び研究の更なる発展を願い、お祝いの辞といたします。